



新人職員の声

Voice of New staff



西宮市消防局 新人職員の声



西宮消防署 警防救助第2係
消防士（令和4年度採用）

趣味：スポーツ観戦

Q. この仕事を選んだ理由は？

私は大学の3年生の時、就職活動で迷ってしまいました。その際、大学まで部活動をしていたこともあって、自分の身体を生かした仕事に就きたいと思い消防士を目指しました。現在、消防署に配属され日々の消防業務にやりがいを感じ、消防士になれてよかったです。

これからも消防士という仕事に誇りを持ち、市民の安全を守る為、高い目標を持ち、知識及び技術の向上に向け、訓練に励んでいきたいと思えます。

Q. 消防学校での生活は？

消防学校では、消防士の基礎となる座学や訓練を行いました。入校当初は、慣れないことや覚えることが多く苦労しましたが、同期のみんなと厳しい訓練を乗り越えた時は達成感に満ち溢れ、人として成長できたと感じました。また、課業後の班での寮生活はとても充実し、今でも頻りに連絡を取り合い、互いに切磋琢磨しています。

消防学校の半年間は体力的にも精神的にも大変なこともありましたが、同期と共に乗り越えることで、社会人そして、消防士として成長できたと感じています。

西宮市消防局 新人職員の声



北消防署 警防救助第2係
消防士（令和4年度採用）

趣味：バイク、釣り

Q. この仕事を選んだ理由は？

この仕事を選んだ理由は、市民の生命や財産を守るといふ誇りに思える仕事が出来ると考えたからです。

西宮市消防局を選んだ理由は、訓練施設や資器材が充実しており、恵まれた環境で業務を遂行できると考えたからです。また、西宮市出身ですので、西宮市民を自分の手で守ることができるということも理由の一つです。

Q. 就活生へメッセージはありますか？

私は勉強がとても苦手でしたから、部活を引退した大学3年の夏から必死に勉強しました。少しずつ理解できるようになり、筆記試験に合格することができました。しっかり対策をすれば、採用試験に合格することができます。卒業論文等やることは多いと思いますが、頑張れば消防士になれますので是非頑張ってください。

西宮市消防局 新人職員の声



西宮消防署 警防救助第1係

消防士(令和4年度採用)

趣味：ジム、釣り、ドライブ

Q. 消防学校での生活は？

消防学校での生活はこれまでの学生生活からは大きく変化し、早寝早起きや日々の厳しい訓練等で最初は慣れないことばかりでした。訓練では想像を遥かに超える厳しい訓練が多々あり、心が折れそうになることもありましたが、同じ志を持ち入校してきた同期と共にやり切ることで、これまで感じたことのない達成感を感じることができました。

また、教官から消防に関する知識を教えて頂いたり、同期との出会いなど、私の人生において消防学校での生活は、かけがえのない財産となりました。

Q. 仕事をしていて「やりがい」を感じる時は？

私がやりがいを感じる時は、市民の方に感謝の言葉を頂いた時です。以前に私が救急隊員として現場に出動した際に、傷病者の方に感謝の言葉をかけて頂きました。仕事をしていて直接お礼の言葉をかけてもらうことができるのは、この仕事の1つの魅力でもあり、やりがいにもなっています。

朝一に行う試運転走行では、散歩をしている保育園の子どもたちが手を振ってくれて活力となるとともに、この笑顔を守れるようにもっと頑張ろうという気持ちになります。

西宮市消防局 新人職員の声



鳴尾消防署 警防救助第2係

消防士（令和4年度採用）

趣味：トイブードルと遊ぶこと

Q. 消防学校の思い出は？

人生で一番辛い半年間でしたが、同じ目標を持った仲間とだから乗り越えることができたと思えて卒業してから感じました。

辛い半年間でしたが、良い思い出もあります。厳しい訓練を通して成長できることや、寮生活を通じて、最高の仲間に出会えたことです。

私にとって、消防学校は、人として成長することができた良い思い出の場所です。

Q. 仕事のやりがいは？

採用2年目に入り、自身への責任感が、以前よりも高くなりました。

火災現場に対応するために、現在は訓練を積み重ね、自身のできることを増やすことにやりがいを感じ仕事に励んでいます。

今年は、救助の養成訓練を受け資格を取得したいと考えています。

早く成長できるよう高い志を持ち、仕事に励みたいです。

西宮市消防局 新人職員の声

西宮消防署 北夙川分署 警防第1係
消防士（令和4年度採用）
趣味：料理



Q. 消防学校での生活は？

社会人になり、人生で初めて寮生活を経験しました。規則正しい生活、座学や訓練など慣れない環境での生活は、毎日が大変でした。しかし、共に過ごす仲間たちと苦しい時間を乗り越えていくことで、とても充実し成長できた半年間になりました。

卒業し、消防署に配属されれば、訓練や勉強ばかりとはいきません。限られた時間を大切にして頑張ります。

Q. 今後の目標は？

救急救命士の資格を取りたいと考えています。消防士の基本である警防隊としての業務を一人前に遂行できるよう日々の訓練に励み、救急の勉強もしていきます。

また、私が消防士を志望した理由の1つに大災害で活躍したいということがあります。そういった現場では特に体力が必要になるので、体力錬成に努め有事に備えたいと思います。

西宮市消防局 新人職員の声



鳴尾消防署 浜分署 警防第2係
消防士（令和4年度採用）
趣味：サーフィン、スノーボード

Q. 西宮市消防局の魅力は？

西宮市消防局は独自の訓練施設や、高度な資器材を保有しています。そのような恵まれた環境下の訓練で、現場で生きる知識や技術を習得することができます。先輩、上司と一緒に訓練を行う機会が多いため、多くを学ぶことができ、日々の成長を実感することができます。

また、消防学校を卒業すれば、新人職員を対象にした訓練があります。より実践的な訓練を行うので、1年目から多くを学ぶことができます。

Q. 消防学校での生活は？

消防学校生活は今までの人生で一番濃い半年だと感じています。兵庫県下の消防本部から同期が集まり、座学や、訓練、体力錬成などを行います。

体力的に厳しい訓練もありますが、全力で行い、乗り越えていくことによって、間違いなく自分自身を大きく成長させることができます。

寮生活では寝食を共にし、楽しい時間も多くあります。辛いことも多くの同期と励まし合い、切磋琢磨していくことで、一生の仲間ができます。

西宮市消防局 新人職員の声



西宮消防署 北夙川分署 警防第2係

消防士（令和4年度採用）

趣味：釣り、キャンプ

Q. 消防士という仕事の魅力は？

消防士の大きな魅力は、自分の職業に誇りを持つことができる場所だと思います。市民の方々から感謝して頂ける機会が多く、その度に強いやりがいと責任感を感じます。また、志の高い職員が多いため、日々刺激を受けながら高い向上心を持って仕事に取り組むことができます。

西宮市消防局の職員一同、みなさんと働ける日が来ることを楽しみにしています。

Q. 消防学校での生活は？

消防学校での生活は、私にとっては、人生で一番濃厚な時間でした。厳しい訓練も多く、心が折れそうになることもありましたが、一緒に頑張る同期の存在があったからこそ乗り越えることができました。

目の前のことに全力で取り組み、仲間を大切にすることで、有意義な消防学校生活を送れると思います。

西宮市消防局 新人職員の声



鳴尾消防署 警防救助第1係
消防士（令和4年度採用）
趣味：映画鑑賞

Q. 消防学校での生活は？

6カ月という期間は忘れられない時間となりました。それは辛く厳しい訓練だったこともありますが、何より同期と助け合い、深い絆を築けたことが1番の理由です。

最初はただただ苦しい思いでしたが、修了が近づくにつれて寂しさを感じるようになり、最後には良い涙を流せました。

今振り返ると、とても充実していた6カ月間でした。

Q. 就活生へのメッセージ

私が数多くある自治体の中で西宮市を選んだのは地元だからという理由でしたが、消防の世界に入り、西宮市で良かったと思うことが多くありました。ここに書き出すと長くなってしまうので省きますが、とにかく消防の道を選ぶなら西宮市消防局を心から推します。

筆記試験に体力試験、面接試験と対策が大変だとは思いますが、頭を使って努力すれば難しい門ではありません。皆さんと一緒に働ける日を心待ちにしています。

西宮市消防局 新人職員の声



鳴尾消防署 浜分署 警防第1係
消防士（令和4年度採用）
趣味：サッカー、音楽鑑賞

Q. 西宮市消防局の魅力は？

西宮市消防局の魅力は、様々な訓練が行える訓練施設を保有しており、充実した訓練を行える点です。

訓練施設では、大人数での想定訓練や警防訓練等を行うことができます。

また、訓練では上司や先輩が熱心に指導して下さいます。消防学校を卒業してからも、新規採用者に向けた訓練もあるため自分の能力を向上させることができる職場環境だと思います。

一緒に働けることを楽しみにしています。

Q. 今後の目標は？

直近の目標は、救助隊になることです。そのために日々体力や筋力の向上に励むとともに臨機応変な活動ができるよう、様々な知識や技術を身に付けていきたいと思っています。最終的には、高度救助隊になり活動していくことを目標としています。

また将来的には、兵庫県の航空隊で活動したいと考えています。この目標を達成するために細かな目標を設定して日々成長し、市民の方々に安心感を与えることができるような職員になりたいと思います。

西宮市消防局 新人職員の声

瓦木消防署 警防総括第1係
消防士（令和4年度採用）
趣味：スノーボード



Q. この仕事を選んだ理由は？

私は中学生の時に、家の前で火事起きた経験を2回しています。当時、火災というものを画面越しでしか見たことがなかった私は、目の前で起きている現状を理解することができませんでした。

延焼の状況から、自分の家まで燃えてしまいそうになる恐怖に駆られる中、私が目にしたのは、危険を顧みず消火活動に取り組む消防士の方々でした。

その出来事から、消防士を目指すようになりました。

Q. 消防士という仕事の魅力は？

消防士は現場活動に限らず、訓練中にも危険を伴う仕事です。常に危険が潜んでいる中、「人命救助」という目標を念頭に日々活動を続けています。

時には厳しい訓練もありますが、その訓練の成果が現場で表れた時や、成長を実感する瞬間はとてもやりがいを感じます。なにより、市民の方に必要とされる素晴らしい職業であると感じています。

西宮市消防局 新人職員の声

瓦木消防署 警防救助第1係
消防士（令和4年度採用）

趣味：映画鑑賞



Q. この仕事を選んだ理由は？

私の友人が消防士であり、消防の仕事の話を聞いたり実際に働いている姿を見て、私もなりたいたいと思い、志すようになりました。

また、人の役に立ちたいと幼いころから思っていたのも目指した理由です。

消防士の業務には警防、救助、救急、予防と多岐に渡ります。

幅広い知識と技術を身に付ける事ができるのも魅力の1つです。

Q. 就活生へメッセージはありますか？

採用試験では筆記、体力、面接と多くあり大変だと思います。

私も当時は、不安なことでいっぱいでした。

辛い時でも諦めずに頑張ってください。

自分が消防士になっている姿を想像して、強い意志で乗り越えてください。

一緒に働ける事を楽しみにしています。

西宮市消防局 新人職員の声



鳴尾消防署 警防総括第1係
消防士（令和4年度採用）

趣味：旅行、温泉巡り

Q. 消防学校での生活は？

消防学校は私の人生の中で一番濃く、充実した半年間でした。訓練で体力的、精神的に限界を迎えそうになっても、横で一生懸命頑張る同期の姿や掛け声に何度も救われました。

この半年間、教官・同期にとっても恵まれていたと思います。これからの消防人生で辛いことがあっても、消防学校で乗り越えることができた訓練、一緒に頑張った同期がほかの消防本部で頑張っていると思うと私も頑張らなければならないと思わされます。一生の思い出と、一生大事にしたい同期に出会えた半年間でした。

Q. 今後の目標は？

私は現在、予防係を担当しています。予防係は、建物の消防用設備の検査など様々な業務を通じて、地域の方を火災から守ります。予防担当という大切な業務を任されているので、もっと予防のことに詳しくなり、一人前になれるよう勉強していきます。

消防には様々な仕事があり、一つ一つが地域の方を守ること全てが繋がっていると実感しています。任されている仕事に責任感を持ち、様々なことに積極的に関わっていき、目標をもって一日一日を大切に過ごしていきたいと思いません。

西宮市消防局 新人職員の声

北消防署 警防救助第1係
消防士（令和4年度採用）
趣味：料理



Q. 消防学校での生活は？

同じ志を持った仲間と半年間ともに共同生活を行い、楽しいことや辛いこと苦しいことなどたくさんありました。思い出や仲間が今では大切な財産となっています。

消防学校での思い出は今でも鮮明に覚えています。なかでも、寮の中にあるコカ・コーラは格別でした。あんなに美味しいコカ・コーラを飲めたのは仲間と消防学校で過ごすことができたからだと思いました。

Q. この仕事を選んだ理由は？

私は、小学校の頃に消火訓練に参加させて頂きました。とても優しく消防士の方々が接してくださり、私も将来市民を守るカッコいい消防士になるんだと思いました。

高校を卒業し進路を考えた時も、小学生時代の消火訓練での消防士に対する思いは消えず、私は人の役に立ち、人を助ける最前線で仕事をしたいと思い消防士という仕事を選びました。

西宮市消防局 新人職員の声



瓦木消防署 甲東分署 警防第1係

消防士（令和4年度採用）

趣味：ゴルフ、スノーボード

Q. 消防学校での生活は？

私にとって初めての寮生活で、最初は慣れないことが多く、ストレスを感じることがありましたが、少しずつ慣れていき、同期という仲間と共に過ごした寮生活は、とても充実したものとなり、今となっては心強い相談相手になりました。

消防学校での講義や訓練は難しい内容や厳しい訓練もあり、戸惑うことも多くありましたが数を重ねていくにつれ、できることが増え最終的に火災想定訓練や査閲で自分たちが積み重ねてきたものを発揮できた時は、とても達成感を感じました。

不安やストレスもありましたが同期全員で楽しみながら、目の前の事に全力で取り組むことで、充実した消防学校生活を送ることができました。

Q. 今後の目標は？

消防学校を卒業し、実際に消防職員として働き始めて数か月ですが、まだまだ技術や知識が足りておらず、現場でも自分のことで精一杯なのが現状です。これからの研修や訓練でたくさんのことを学び、隊長や他の隊員の考えを汲み取り、視野を広く持ちながら活動できるようになることが目標です。

消防には警防、予防、救急、救助と幅広い分野の業務があります。その中で私は警防に力を入れたいと考えています。訓練などで自分の技術を磨き上げることが大切ですが、警防の業務をしっかりと学び、どんな仕事でも任せられるような職員になることが目標です。

西宮市消防局 新人職員の声



瓦木消防署 甲東分署 警防第1係
消防士（令和4年度採用）
趣味：サウナ

Q. この仕事を選んだ理由は？

私の知人に消防士の方がいます。その方から、色々な消防の仕事の話を知っているうちに消防士という仕事に憧れを持ちました。災害現場で人命救助する救助隊の話を知ったり、活躍する姿をテレビで見ているうちに、私も消防士という仕事に就いて実際に現場の最前線で「人を助ける！」と決心し消防という仕事を選びました。

消防学校を卒業し、実際に消防署で働く中で警防、救助、救急、予防のどの業務も市民を守ることに繋がっていますし、どの業務にもやりがいを感じています。消防は、向上心を持って働ける仕事だと思っています。

Q. 消防学校での生活は？

消防学校では、半年間で消防についての基礎知識について学びます。講義だけでなく過酷な訓練や体力錬成など厳しく辛いこともありましたが、一人前の消防士になるために必要なことであり、成長できる場所であったと思います。

消防学校生活の中では何よりも同期生の存在はとても大きく、楽しみながらもお互いに切磋琢磨しながら、訓練や寮生活を送ることができ、充実した消防学校生活になりました。

消防学校を卒業し、消防署に配置されてからは、消防学校で学んだことをしっかり生かせるよう日常業務に励んでいます。

西宮市消防局 新人職員の声

瓦木消防署 警防救助第2係
消防士（令和4年度採用）
趣味：キャンプ



Q. 仕事をしていて「やりがい」を感じる時は？

最も「やりがい」を感じる時は、できなかったことができるようになった時です。最初はなかなかうまくできなくても、訓練を重ねることで少しずつ技術が身に付き、また、それが現場活動に生かされるとモチベーションの向上につながると感じています。

日々を無駄にせず、少しでも「消防士」として「人」として、成長できるように、知識、技術、体力の向上に取り組んでいます。

Q. 消防学校での生活は？

消防学校は、授業、訓練、寮生活等のすべてにおいて、消防の基礎が詰まっています。人の命に関わる仕事である以上、時に辛く苦しいこともあります。それ以上に多くのことを学び得ることができる場所でもあります。

仲間と切磋琢磨し、汗を流した日々は一生の宝物です。消防学校で学んだことを胸に刻み、これからも日々の研鑽に努めていきます。

西宮市消防局 新人職員の声



鳴尾消防署 警防救助第2係
消防士（令和4年度採用）
趣味：釣り

Q. この仕事を選んだ理由は？

私は、小学校から続けていた野球で培った体力を生かせる仕事に就きたいと思い、消防士を志しました。

また、災害現場の最前線で活躍される救助隊の方々の姿に憧れを抱き、いつかは救助隊として消防業務に携わりたいと思い、この仕事を選びました。

Q. 消防学校での生活は？

初任科での6ヶ月間は、とても充実したものでした。自身をとて成長させることができたと感じています。

自分ひとりでは苦しい場面であっても、同期と支え合いながら6か月間を全力でやりきることができました。過酷な訓練も多くありましたが、それを乗り越えたということは、自分の中で大きな自信となっています。

西宮市消防局 新人職員の声



Q. この仕事を選んだ理由は？

中学生の頃に祖父を事故で亡くしました。その時に駆けつけてくれた消防隊、救急隊の活動を後から聞き、どんなに厳しい状況であったとしても、決して諦めることなく処置をしてくださったことに対する感謝の気持ちと、誰かのために全力を尽くす姿に感銘を受け消防士を志しました。

Q. 仕事をしていて「やりがい」を感じる時は？

現場到着時は、不安な顔や苦痛を訴えている顔でも、消防隊により安全が確保された時の安心した顔や、救急隊による的確な処置が施され苦痛が和らいだ顔を見ると、今までやってきた訓練や勉強が役に立ったと実感できる時にやりがいを感じます。

今後、更に勉強と訓練を重ね、知識を付けて、現場での的確な活動ができるように頑張ります。

西宮市消防局 新人職員の声



北消防署 警防救助第1係
消防士（令和4年度採用）
趣味：料理、筋トレ

Q. この仕事を選んだ理由は？

自分が長年過ごしてきた西宮市の人々を、今後発生すると予想されている南海トラフ地震や、その他数々の災害から守るためです。

私の目標は予防業務を通じて、たばこの不適當な放置やコンロの消し忘れ等による火災を少しでも減らし、住みよい地域づくりに貢献することです。

Q. 消防学校での生活は？

消防学校で過ごした半年間は人生で最も濃密で、辛く、楽しい時間でした。

厳しい訓練で何度も挫折してしまいそうになりましたが、同じ小隊や班の仲間と声を掛け、支え合いながら最後までやり抜くことができました。

消防学校で得た経験、技術、仲間を糧に今後の消防人生をよりよいものにします。